

## 毎月第2土曜日は資源物の収集日



# 【新聞・チラシ】【雑誌】【牛乳パック】【ダンボール】 【雑がみ】 貴重な資源物の分別方法

リサイクルには、資源化できるものをしっかり分けて、同時に異物を混入させないようにすることが重要です。異物が大量に混入していると選別作業が困難になり、引き取りを拒否される場合もあります。

### 紙類

- 種類別に、ひもで十字字にしぼって出してください。
- ガムテープや針金でしばらないでください。

#### (新聞紙・チラシ)



新聞紙と広告チラシのみ

#### (雑誌)



なるべく同じ大きさのものを束ねる

#### (紙パック)



▲水洗いをし、切り開き、乾かしてから束ねる

▲内側が銀色の紙パックは「燃やせるごみ」へ

#### (ダンボール)



厚紙は入れない。空き箱などでも波(段)があるものはダンボール。

#### (雑がみ)

ティッシュペーパーや菓子などの紙箱、包装紙、古封筒、ラップやトイレトペーパーの芯、パンフレット、メモ用紙、プリント類など



▲小さい紙や束ねづらい紙は古封筒や紙袋を利用すると便利です。

- 回収できないもの 【次のものは、燃やせるごみとして出してください】
- 加工してある紙類(カーボン紙、ローびき紙、ビニール(防水)加工紙、金紙・銀紙の防水加工紙、油紙、感熱紙、感圧紙、FAX用紙、内側が銀色の紙パック)
- ペンキ、油などで汚れたもの

正しく出されなかったごみが、その後どうなるかご存知ですか？ごみを正しく出さなかった方に気づいていただくため、収集業者が回収できない理由を書いた黄色のシールを貼り、そのまま置いていきます。シールが貼られたごみを取りに来る方がいないときは、地区の役員さんや収集場所近くの住民さんが正しく分別して収集日に出し直しており、大変苦労されています。正しい分別には手間や時間を要しますが、一人一人が気をつけてごみを出すことは、ご家庭にとっても、ごみを収集・処理する作業員にとっても、地域にとっても大切な行動です。青木村一丸となって正しい分別に取り組みましょう。

## 収集されずに残された資源ごみ…このままでは収集できません!



①



②



③

- ①箱詰めされた状態のもの
- ②ビニール袋に入れられたもの
- ③箱のまま置かれていないもの

## このように一人ひとりが心がけ…正しい分別に取り組みましょう!



取っ手がビニールのものやカレンダーの金具は外す



ティッシュボックスや封筒のビニールは外す



雑がみ

ダンボール

収集業者は早朝から運搬車の安全点検等をし、収集作業を始めています。ごみ・資源物は決められた収集日の朝6時から朝8時まで決められた場所に出しましょう。

注) 10月31日(土)は第5土曜日です。燃やせないごみや資源物の収集日ではありませんのでご注意ください。